

コロナ禍だから 「春季生活闘争」の前進を！

2021春季生活闘争の開始宣言から、約3カ月が経過した。連合山形は、賃上げ要求水準を「10,500円以上」とする闘争方針を掲げ、「底上げ」「底支え」「格差是正」に取り組んできた。今季闘争は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、企業業績が悪化し、とりわけ中小労組では「厳しい交渉」が続いている。3月、県・山形市が発出した緊急事態宣言を考慮し、「中小労組支援県都集会」が中止となった。組織内外へのアピールができなくなったが、「コロナ禍」だからといって、賃上げの流れを断ち切らせてはいけない。このような時こそ、「誰もが希望を持てる社会の実現」に向け、果敢に挑戦し続けよう！

中小労組 「激励訪問」

春季生活闘争の共闘意識を高揚するため、3単組へ訪問した。3月12日、JTニフコ山形労組（塩澤岳委員長）に、連合山形小口会長と同行して訪問。3月16日には、天童木工労組（本間真介委員長）に訪問した。その後、緊急事態宣言が発出されたことから、4月8日に行った山形電機調整労組との意見交換は、WEB会議ツール（Zoom）を活用し開催した。



2%の賃上げを要求！
（JTニフコ山形労組）



10,500円（定昇・格差是正分）を要求！
（天童木工労組）



2,100円のベースアップを要求！
（山形電気調整所労組）



がんばろー！！



（3月6日 春季生活闘争
総決起集会…市民会館）

山形県中央メーデー WEB開催

スローガン

今こそ心ひとつに！働く仲間の笑顔のために感謝と思いやりの絆をつなぎ希望あふれる未来を切り拓こう！



抽選会の様子
連合山形ホームページで配信しています。

テープで街宣行動

新型コロナウイルス感染症対策により、例年街頭で行っていた「春季生活闘争アピール行動」は、音声テープによる街宣行動に切り替え実施した。3月1日から12日まで延9日間、地協四役・幹事出身労組の組合員が街宣車に乗車。山形、天童、上山市内、山辺、中山町内を巡回し、「春季生活闘争・コロナ対策・36協定締結促進」などを訴えた。



街宣車に乗車で市内を巡回

36協定の締結促進を要請

連合山形は、3月2日、36（サブロク）の日にあわせ、山形労働局長・県内労働基準監督署長に「長時間労働是正と36協定締結促進」の要請書を連合山形・各地協が提出した。

山形地協では、岡田洋輔議長が山形労働基準監督署（堀田英一署長）に要請書を手交した。山形署管内における36協定の締結率は42・16%。5割にも満たない状況であることから、労基署において、さらなる周知徹底を呼び掛けるとともに、未締結企業への訪問指導を要請した。



さらなる36協定の周知徹底を（労働基準監督署にて）

「役員交代」

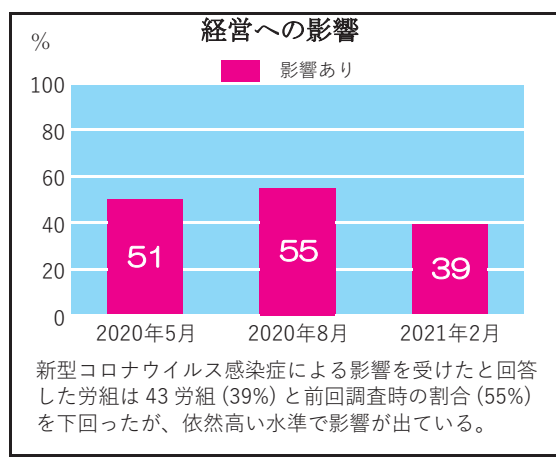
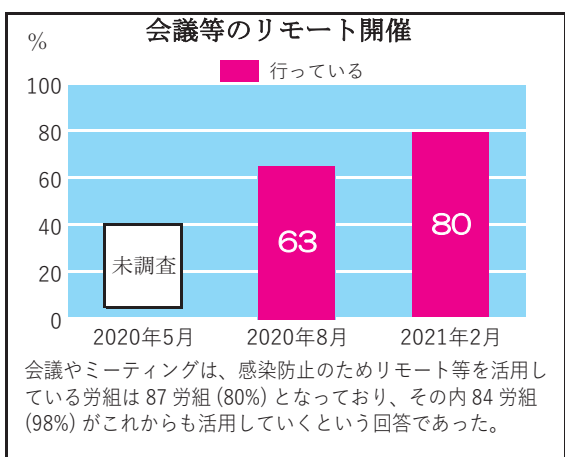
○幹事会	旧役員 幹事 福澤 達也（高教組）	新役員 幹事 逸見 利香（高教組）
○青年委員会	旧役員 幹事 山口 湊太（情報労連）	新役員 幹事 清水 雄介（情報労連）
○女性委員会	旧役員 委員 福澤 美幸（高教組）	新役員 委員 和田 桜子（高教組）

いまだ収束見えず

第3回コロナ労働環境調査

連合山形で、第3回目となる調査を実施し、連合山形傘下109労組（内山形地協49）から回答を得た。集計の結果、コロナ収束が見えず経営への影響を受けている労組が約4割あった。

国内でのコロナ感染発生から1年以上が過ぎたが、なかなか収束がみえず、政府のコロナ対策の甘さが露呈するばかり。企業などへの支援策の効果はどうだったか？国民に呼びかけた「新しい生活様式」は、どれだけ浸透したか？まだまだ課題は多い。



政策要請

昨年3市長に提出した「2021年度予算及び政策制度に関する要請」の回答書が、それぞれの市長から回答書が届いた。コロナに関しては、国、県との連携により課題を打開していくとの回答が多い。今後、各市においてウイズ/アフターコロナに向け、それぞれ地域に見合った独自の対策を講じていくことで地域での「コロナ克服」「経済再生」につながっていくことを切に願う。

なんでも労働相談ダイヤル



解雇・雇止め、賃金カット、残業、休暇などの相談

☎ 023-622-0551
5月25日(火)・26日(水)
10:00 ~ 18:00

東南村山地区勤労者体育祭「中止」

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めないことから県大会が中止決定されたため、地区予選会も中止することとなりました。